

学校を支える四本の柱の話

四本の柱のこと

笠松中学校には四本の柱があります。「学習」、「清掃」、「合唱」、「ボランティア」が、それです。この柱が、いつ立てられたのか詳しく調べていませんが、学校や生徒を支える大きな柱になっていることは間違いありません。

その証拠に、先生や生徒たちが笠松中学校の話をする時に、必ずと言っていいほど、この四本柱の話が出てきます。しかも、その話ぶりはかなり自慢げで、

自信をもった言い回しになっています。

私はこの学校に赴任してわずかですが、この四つの柱について感心することがたくさんあります。

例えば、柱の一つである「清掃」を取り上げても、こうです。

感心すること

清掃の時間、生徒たちは本当に真剣に取り組んでいます。何かの用事でそばを通り過ぎる時がありますが、通り過ぎる方が遠慮しなければならぬと思う

くらいです。本当に感心します。

今年度、清掃の時間が昼に移動するに伴って、時間をどうするか、職員の間で熱心な話し合いが行われました。話を聞きながら、学校として、この四本柱を本当に大切にしているんだという思いが強く伝わってきました。先生たちの意気込みに感心しました。

もつと感心したこと

もつと感心したことは、生徒会には整美委員会があるのに、先生の委員会に「清掃指導」を受け持つ組織がないことです。

多くの学校は先生の指導委員会が中心になり、毎月どんな指導をしていくか、提案されるのですが、笠中は、それがなくてもうまく進んでいくのです。

初めは、このことが不思議でしたが、最近分かるようになりました。それは、よその学校では先生がやっていることを、笠中の生徒は、生徒同士がやっているんだということです。上級生から下級生に、自分たちの普段の姿や交流を通して、さも当然のように伝えていくのです。まさに「伝統」、「身に付いた実践力」です。

本当に感心します。

笠松中学校

校長 赤木 重義



教育委員会
だより

もうすぐ夏休み

夏休みが近づいてきました。学校では、長期間にわたる生活を少しでも充実させようと子どもたちに夏休みの計画を考えさせたり、計画表を作成したりします。ご家庭でも、お子さんどのように過ごしていくか、毎年のことながら話題になりますね。でも、40数日に及ぶ休みでは、いつもいつも親子で一緒に過ごすことはなかなか難しいものです。家族で計画的にどこかへ行ったり、スポ少や習い事をしたりと、毎日の日課をきちんと決めているお子さんは、やることはつきりしているので行動しやすいのです。でも、何をして過ごすか漠然としていて、全然計画が決まらない子にとっては、今年も例年と同じようにだらだらとした夏休みで終わってしまう心配があります。

そこで、笠松町で開かれる夏休みの子ども教室や、さまざまな体験活動を計画の中に入れてはいかでしょうか。笠松町での小中学生参加型の事業をいくつか紹介します。

事業名	期日	内容	問合先
笠松川まつり " ボランティア清掃	8 / 15(日)・16(月)	川まつりスタッフ・万灯流し 笠松公園清掃活動	役場企画課 ☎388 - 1111
夏休み親子教室	夏休み期間	マジック教室・物作り・押し花アート・ トールペイント・おやつ作り等	中央公民館 ☎388 - 3231
小学生参加事業	8 / 7(土)・13(金) 15(日)・20(金)	ハンドタオル人形・壁画づくり・小物入れ	児童館 ☎388 - 0811